

大分教育事務所訪問 40

大分市立神崎小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

大分市小規模特認校制度の学校である本校は、校区外の子ども達からも選ばれるため、社会に開かれた学校を目指しており、学校の教育目標を「自ら考え 心豊かで たくましく生きる『神崎っ子』の育成」と定め、「考える子」「やさしい子」「くじけない子」をめざす子ども像として、それぞれの組織を中心に取り組んでいます。また、取組指標についても毎月検証を行い（1学期は2月毎）、よりよいものに改善されています。

現在 62 名のお子さんが在籍しています。校区外から来る子ども達も自力通学を目標にして、地域の方も温かく迎えてくれます。また、「全教職員で全校児童を育てよう」と、毎朝、子ども達も教職員も一緒に運動場を走る等、教職員と子ども達みんなが支え合っている雰囲気をとても感じました。

今後は、学校経営計画表にある、それぞれの取組項目が、どの「資質・能力（3本柱）」を育てるのかを明確にすることで、教職員や保護者・地域のベクトルが揃いやすくなると思います。そのことで、方法（手段）は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まると思いました。

授業から学ぶ

全学級の授業を参観させて頂きありがとうございました。どの学級も、子どもどうしを認め合うような学び合いが行われており、温かい空気の中で授業が進められていました。また、掲示物は子ども達が作成したものが多く、活動の場を保証していると思いました。

今後は、達成指標の「授業が楽しくわかりやすい」と感じる児童の割合を増やすためにも、「振り返り」では、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思いました。



NO.187 2021年7月 大分市立神崎小学校

やさしい子

何も言わなくても、言われなくても、表情をみると行動ができる。友達だから。



NO.188 2021年7月 大分市立神崎小学校

考える子

黒板はだれのためにあるの？自分の考えを伝える人のためにあるのですよね。



NO.190 2021年7月 大分市立神崎小学校

がんばる子

新しいことに挑戦する。最初から上手くはいかない。失敗ではない経験だ。経験が人を強くする。



NO.189 2021年7月 大分市立神崎小学校

くじけない子

難しい課題だから友達と考える。そして、それぞれの良さを発揮する。